

認知症と向き合う知恵

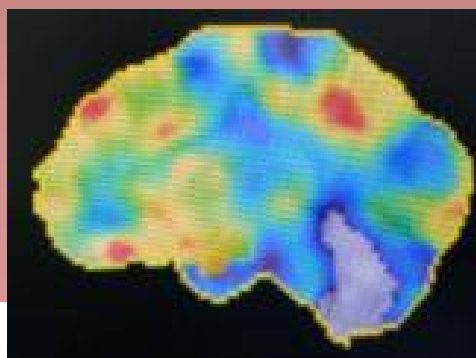
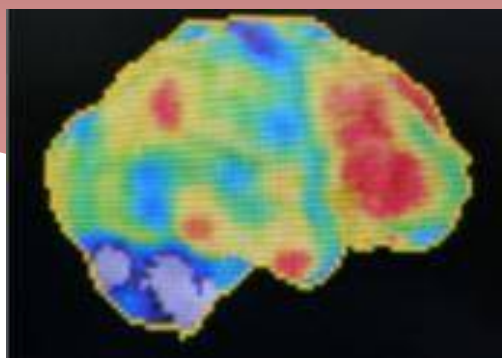
日時：平成24年11月24日(土) 15時～17時半

場所：東京大学山上会館 大会議室

主催：颯田医学奨学会

共催：颯田クラブ

参加費無料・申し込み不要



講演会の趣旨

高齢化とともに認知症をわずらう人の数は増加しています。認知症は本人、家族にとって大変な負担であるとともに、社会的にも大きな課題です。認知症の問題を遠ざけたり先送りするのではなく、認知症についての理解を深め、認知症とどう向き合っていくか、社会全体で学び対処法を考えていく必要があると思います。

そこで本講演会では、**認知症と向き合う知恵**として4つの視点から考えてみることにし、実生活の現場で起きている問題の解決に役立つよう企画しました。

1つ目の視点は、日常生活における予防法と進行防止法

2つ目の視点は、もの忘れ外来における診断と治療

3つ目の視点は、観察される症状と感じられる症状

—BPSDはなぜ起こるか

4つ目の視点は、介護の立場から見た認知症への対処法

これらのことを通じて家族・社会が明るく開放的に認知症と向き合っていく一助になればと期待します。

山上会館は
ココ



アクセス
・東京メトロ丸の内線・都営大江戸線「本郷三丁目」より徒歩10分
・東京メトロ南北線「東大前」より徒歩15分
・東京メトロ丸の内線・JR「御茶ノ水」聖橋から東大構内行都バス「病院前」下車徒歩5分

Opening Remarks: 颯田医学奨学会理事長 古田直樹

講演内容

1. 「日常生活の中での認知症の予防と進行防止」

慶應義塾大学 神経内科専任講師 伊藤義彰先生

2. 「もの忘れ外来における診断と治療」

独立行政法人国立病院機構

東京医療センター神経内科医長 森田陽子先生

3. 「観察される症状と、感じられる症状

—BPSDはなぜ起こるか—

都立松沢病院 院長 齋藤正彦先生

4. 「介護の立場から見た認知症への対処法」

ケアワーク弥生 ケアマネジャー・顧問 笠原ケサエ先生

Panel Discussion

Closing Remarks: 颯田医学奨学会副理事長 加我君孝

問い合わせ先：颯田医学奨学会事務局

Tel & Fax: 03-5689-8995

E-mail: sattaigaku@snow.ocn.ne.jp

URL: <http://sattaigaku.or.jp>